

(様式4)

平成24年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 個別目標の評価結果

個別目標	(1)-①子育て支援ネットワークと情報提供の充実
I 一次評価	評価・意見(事務局)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	子育て家庭のニーズに合わせた講座が充実してきていることが窺えます。今後は子育てボランティアを育成する事業を充実していく必要があると感じます。
評価点	2.8 点/5点
II 二次評価	評価・意見(次世代育成支援対策地域協議会)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	子育て支援団体のネットワーク強化やボランティアの育成などは、より一層充実させる必要があることから、今後も講座やサロン等で協力が得られるボランティアの積極的な支援、育成を求めます。情報提供に関しては、情報の更新が大きな課題といえます。
評価点	3.4 点/5点
III 評価結果(総合評価)	各種講座の充実は評価できますが、大和市全体での整理も必要かと思えます。特に、保育ボランティアの養成は、子育て支援の現場だけではなく、やまとボランティアセンター、市民活動センター及び学習センターが協働して実施する取り組みが必要です。
最終評価点	3.1 点/5点

個別目標	(1)-②子育て家庭への経済的支援
I 一次評価	評価・意見(事務局)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	所得制限の見直しや対象者の拡大など、子育てに要する費用を軽減するための施策を引き続き検討してください。特に不妊治療には高額な費用を要するケースが多いことから、今後も継続した支援を望みます。
評価点	2.3 点/5点
II 二次評価	評価・意見(次世代育成支援対策地域協議会)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	経済的基盤の安定は、必要不可欠な施策ですので、質的な充実も含めて子育てに要する費用を軽減するための施策を検討してください。また、経済的支援が必要な家庭が確実に給付を受けられるよう就学援助などの各種制度の周知徹底を引き続き実施してください。
評価点	3.4 点/5点
III 評価結果(総合評価)	子育てに要する費用が多額であることから、第2子以降を産み育てることを躊躇している現状が続いています。待機児童解消は重要な課題ではありますが、子育て家庭全体を見据えて、出産・育児に関する様々な親の負担が軽減されるような支援施策について努力するべきではないでしょうか。
最終評価点	2.9 点/5点

(様式4)

平成24年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 個別目標の評価結果

個別目標	(1)-③多様な保育サービスの充実
I 一次評価	評価・意見(事務局)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	依然として待機児童問題が解決しておりませんので早期解決を望みます。また、子育て家庭が求めている保育サービスの把握・分析を適宜行う必要があるのではないのでしょうか。
評価点	2.3 点 / 5点
II 二次評価	評価・意見(次世代育成支援対策地域協議会)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	保育園の待機児童解消に向けた取り組みは、量的拡充を図るだけでなく、子どもの育成環境を十分に考慮し、質の評価と向上も同時に検討していくことが必要です。
評価点	2.6 点 / 5点
III 評価結果(総合評価)	依然として待機児童が増え続けており、保育所を増設しても問題解消に至らない状況が続いていますので、引き続き早期解決に向けて努めてください。また、子育て支援サービスとして、現在実施している保育サービス(一時預かり、ファミリーサポートセンター)の見直しも含め検討を行うべきと考えます。
最終評価点	2.5 点 / 5点

個別目標	(1)-④仕事と子育ての両立の支援
I 一次評価	評価・意見(事務局)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	育児休業制度の認知度の向上により、休暇取得に対して一般的には寛容になりつつありますが、男性の育児休業の取得状況が芳しくないことから粘り強く周知啓発が必要と思われます。
評価点	4.3 点 / 5点
II 二次評価	評価・意見(次世代育成支援対策地域協議会)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画は、社会全体に浸透していくには時間がかかる難しい問題ですが、市内中小企業や商工会議所に働きかけることで、企業にも理解を促す啓発活動が重要と考えます。
評価点	3.3 点 / 5点
III 評価結果(総合評価)	男女共同参画の取り組みが、仕事と子育ての両立支援をどのように具体化しているかが不明確です。市内企業に対して、啓発を兼ねて両立支援の実態調査を行い、取り組みの現状を把握する必要があるのではないのでしょうか。
最終評価点	3.8 点 / 5点

(様式4)

平成24年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 個別目標の評価結果

個別目標	(2)-①外出しやすいまちづくりの推進
I 一次評価	評価・意見(事務局)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	駅舎や公共施設では改善が進んでいるようです。しかし、歩行者と自転車が分離されていない歩道が多くあるため、今後は乳幼児や妊婦を自転車から守る施策を推進してください。
評価点	2.5 点 / 5点
II 二次評価	評価・意見(次世代育成支援対策地域協議会)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	コミュニティバスの運行についての工夫は評価できますが、ルートが主に南北移動で東西移動になっていないこと、本庁舎から大和駅までの間が空白になっていることなど、従前からの課題が解決されていないようです。
評価点	3.0 点 / 5点
III 評価結果(総合評価)	新しく建設された公共施設や商業施設は、子育て家庭に配慮した設備が整えられていますが、駅舎に授乳室がない、電車・バスでベビーカーの置き場所が少ないなど、不十分な点があります。子育て家庭が外出しやすくするため、公共交通機関の事業者に対して要望し続ける必要があると思います。
最終評価点	2.8 点 / 5点

個別目標	(2)-②子どもの安全の確保
I 一次評価	評価・意見(事務局)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	児童に危害を加える不審者情報が増えているようです。不審者が目撃された地域のパトロール強化も重要ですが、不審者に遭遇した際の対応を子どもたちに教えていくことも必要と思います。
評価点	2.6 点 / 5点
II 二次評価	評価・意見(次世代育成支援対策地域協議会)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	小・中学生の自転車の危険走行が目立ちます。安全教室300回の実績は評価できますが、本当に安全啓発として効果が出ているのか疑問です。なお、道路での歩行者・自転車の通行区表示は、市民の評価が高いことからエリア拡大を検討してください。
評価点	3.3 点 / 5点
III 評価結果(総合評価)	子どもたちに対する防犯及び交通安全の啓発活動は、防犯意識、交通安全に対する意識を高めるために重要と考えます。今後も老人クラブ、自治会関係者及び警察と連携を図り、子どもたちの安全確保に努めてください。
最終評価点	3.0 点 / 5点

(様式4)

平成24年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 個別目標の評価結果

個別目標	(3)-①医療体制の整備・充実
I 一次評価	評価・意見(事務局)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	夜間や休日などの診療時間外に病院を受診するかどうか、判断に迷うことが多いと思われます。判断の参考となる「子ども救急パンフレット」、「小児救急相談」、「やまと24時間健康相談」の周知活動を引き続き行ってください。
評価点	1.8 点 / 5点
II 二次評価	評価・意見(次世代育成支援対策地域協議会)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	夜間、休日診療の充実は子育て家庭において重大な関心事です。夜間、休日診療の小児科医の配置など適切な受診ができる体制づくりを継続して進めてください。
評価点	2.7 点 / 5点
III 評価結果(総合評価)	子育て家庭に対しては医療機関へのかかり方等の啓発や最新の医療情報の提供が必要ですので、入手しやすさ・分かりやすさに配慮していただければと思います。また、子育て家庭が安心して医療サービスを受けられるよう、医療機関等に対する指導をより一層推進することも必要と考えます。
最終評価点	2.3 点 / 5点

個別目標	(3)-②子どもと親の健康支援
I 一次評価	評価・意見(事務局)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	受診率向上のために、健康診査の時間を子どもの生活リズムに配慮した時間帯へ変更するなど、実施方法についても、受診者の利便性の向上を図ることが必要ではないでしょうか。
評価点	2.3 点 / 5点
II 二次評価	評価・意見(次世代育成支援対策地域協議会)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	各健康診査の受診率が100%となるよう情報提供や未受診者に対する家庭訪問など地道な活動を継続している点は評価できると考えます。引き続き受診率向上への取り組みを続けてください。
評価点	3.4 点 / 5点
III 評価結果(総合評価)	母子の健康の保持増進や疾病・障がいの早期発見、早期療育のために、健康診査の果たす役割は重要です。健康診査は、子どもの成長発達について確認・相談できる場、育児を専門職に相談できる場であることから今後も有効な子育て支援の場として期待します。
最終評価点	2.9 点 / 5点

(様式4)

平成24年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 個別目標の評価結果

個別目標	(3)-③食育の推進
I 一次評価	評価・意見(事務局)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	子どもの食育を推進するためには、大人の意識向上、食環境の改善などが必要です。今後も地産地消を進めるとともに安全安心な給食を提供できるよう努めてください。
評価点	2.1 点 / 5点
II 二次評価	評価・意見(次世代育成支援対策地域協議会)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	食品残渣と食品リサイクルについての教育も課題とするよう検討してください。また、異物混入事故もあり、施設環境の改善や調理工程の再確認が必要と思います。
評価点	2.9 点 / 5点
III 評価結果(総合評価)	朝食欠食や偏った栄養摂取など、食生活の乱れから子どもたちの健康を守るには保護者の意識から変えていく必要があります。そのため、地産地消の推進と合わせて、様々な場面においてより一層の周知啓発活動を展開する必要があると考えます。
最終評価点	2.5 点 / 5点

個別目標	(4)-①生きる力の育成に向けた教育環境の充実
I 一次評価	評価・意見(事務局)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	小・中学校において、充実した教育活動ができるよう施設、設備及び備品など教育環境全般の整備が計画的に進められているようです。引き続き教育環境を充実させてください。
評価点	2.0 点 / 5点
II 二次評価	評価・意見(次世代育成支援対策地域協議会)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	読書活動の推進は、予算の伸びも大きく積極的に取り組んでいると評価できます。教育環境を適切に整備するため、学校からの要望に基づいて大規模改修の予算を確保するよう引き続きお願いします。
評価点	3.0 点 / 5点
III 評価結果(総合評価)	学校施設は、子どもたちの学習の場、生活の場であるとともに、災害時には地域防災の拠点としての役割も担っています。また、児童・生徒と地域住民との交流の場でもあることから、引き続き施設整備を推進してください。
最終評価点	2.5 点 / 5点

(様式4)

平成24年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 個別目標の評価結果

個別目標	(4)-②思春期保健対策の充実
I 一次評価	評価・意見(事務局)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	喫煙、薬物、過剰なダイエットなどが思春期の子どもたちの身体をむしばみ、健康障がいのみならず将来産まれてくる赤ちゃんにも悪影響を与えかねないことが指摘されています。今後も関係機関・団体と連携しサポート体制の充実を図ってください。
評価点	1.8 点 / 5点
II 二次評価	評価・意見(次世代育成支援対策地域協議会)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	中学校の不登校生徒支援員の全校配置は評価できると考えますが、よりきめ細かい対応をするため、常勤による配置の検討などを引き続き検討してください。
評価点	2.3 点 / 5点
III 評価結果(総合評価)	乳幼児期・学童期の発達過程や養育環境が思春期における心身の発達に大きな影響を与えていることが指摘されています。そのため、思春期における様々な問題行動要因が乳幼児期にもあるということを保護者に対して啓発していく取り組みが必要ではないでしょうか。
最終評価点	2.1 点 / 5点

個別目標	(4)-③多様な体験活動の充実
I 一次評価	評価・意見(事務局)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	擬似体験や間接体験は充実傾向にあるようですが、自然と直接ふれあうような直接体験の機会が乏しいと感じます。休止となった事業が別の形で早期に再開されることを望みます。
評価点	2.1 点 / 5点
II 二次評価	評価・意見(次世代育成支援対策地域協議会)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	危険である、安心できない等の理由で本物の体験ができない状況がありますが、「あぶない」を自分の身をもって知ることができる機会が必要ではないでしょうか。また、子どもたちや親が、体験活動を選びやすいような体系的整理とインフォメーションが必要と感じます。
評価点	3.1 点 / 5点
III 評価結果(総合評価)	インターネットや携帯電話の普及により社会全体がデジタル化され、少年期における人間関係の希薄化や実体験の不足が問題視されています。この時期は人格形成の重要な時期であることから、課題の探求や解決能力を育成するために、直接体験を通して学んでいく場と機会を子どもたちに提供してください。
最終評価点	2.6 点 / 5点

(様式4)

平成24年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 個別目標の評価結果

個別目標	(4)-④子どもの居場所づくりと健全育成
I 一次評価	評価・意見(事務局)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	自分の居場所を見つけることが困難な子どもたちに対して、様々な受け入れ体制を整えておくことは必要です。ただし、居場所を押し付けるのではなく、どこが自分にとってふさわしい居場所なのかを考えさせることも大切であると考えます。
評価点	2.6 点 / 5点
II 二次評価	評価・意見(次世代育成支援対策地域協議会)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	放課後児童クラブでも待機児童が出ていることと、今後の高学年受け入れを考慮すると量的拡大は必要不可欠です。また、同時に生活の場として子ども達が長く定着できるように質の向上も不可欠と考えます。
評価点	3.5 点 / 5点
III 評価結果(総合評価)	子どもたちが放課後などに学年の異なる友達と遊んだり、地域の人たちとの交流を通じて人づきあいや社会のルールを学んだりすることで、自分の考えを伝える力などを育むことができることから今後も継続して事業の充実を図ることを望みます。
最終評価点	3.1 点 / 5点

個別目標	(4)-⑤次代の親の育成
I 一次評価	評価・意見(事務局)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	結婚や子育てに対する過度な不安感や負担感が晩婚化や少子化の一因となっています。次代の親となる子どもたちには、健康や出産、子育てについて正しく理解してもらうための教育が重要と考えます。
評価点	3.5 点 / 5点
II 二次評価	評価・意見(次世代育成支援対策地域協議会)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	子どもを産むことの意味、育てることの苦楽について、また出産の適齢等、幅の広い次代の親の育成を再考してください。また、児童虐待未然防止の観点で、親育ちを目的とした講座を学習センターで開催することの検討をお願いします。
評価点	2.9 点 / 5点
III 評価結果(総合評価)	子どもが親への依存から脱却する「親離れ」を進め、自立するよう意識を改める必要があります。引き続き、男女共同参画と併せて、学校教育と地道な啓発活動の取り組みを進めていこうをお願いします。
最終評価点	3.2 点 / 5点

(様式4)

平成24年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 個別目標の評価結果

個別目標	(5)-①子どもの権利擁護、児童虐待防止策の充実
I 一次評価	評価・意見(事務局)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	子どもが自らSOSを発することは困難です。乳幼児健診や家庭訪問に応じない家庭に対しては関係機関と連携を密にして保護者と子どもに接触することに引き続き努めて下さい。
評価点	1.9 点/5点
II 二次評価	評価・意見(次世代育成支援対策地域協議会)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	子どもの権利条約をいろいろな場面で再考していくことが必要と思います。特に、児童虐待については、情報の共有が大きな課題としてありますが、児童相談所、家庭児童相談室、地域の相談機関や窓口の連携がより密になるよう努めてください。
評価点	2.6 点/5点
III 評価結果(総合評価)	児童虐待による子どもの死亡事件等の重大な事態を防ぐために小さな兆候を見逃さないことが重要ですので、乳幼児健診や家庭訪問の充実に引き続き努めてください。また、児童・生徒と接する機会が多い教員や相談員への人権教育の充実も必要であると考えます。
最終評価点	2.3 点/5点

個別目標	(5)-②いじめ・不登校児童生徒への支援
I 一次評価	評価・意見(事務局)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	不登校児童生徒に対する支援体制が充実してきているのは分かりますが、いじめ対策の状況が事業結果から見えてきません。いじめ撲滅のための確固たる意思が伝わってくるような取り組みを期待します。
評価点	2.7 点/5点
II 二次評価	評価・意見(次世代育成支援対策地域協議会)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	少子化が叫ばれている中、いじめ・不登校の数が増えている現状を食い止めるために、いじめ・不登校児童への対策は継続して実施してください。また、NPO法人等の不登校児童サポート団体の支援の充実についてご検討してください。
評価点	2.9 点/5点
III 評価結果(総合評価)	いじめを苦にした自殺が全国で相次いで起きています。本市は自殺対策にも力を入れていることから本市独自の取り組みを期待します。また、不登校児童生徒数を減少させるには不登校になる前に対応することが必要であり、支援員の常勤配置など、よりきめ細かい対応の検討をお願いします。
最終評価点	2.8 点/5点

(様式4)

平成24年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 個別目標の評価結果

個別目標	(6)-①障がいのある子どもと家庭への支援
I 一次評価	評価・意見(事務局)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	発達支援が必要な児童に対するサービス給付や相談が増えていますが、対象となる児童や保護者が望んでいる支援を受けることができるような体制づくりに力を入れてください。
評価点	1.8 点/5点
II 二次評価	評価・意見(次世代育成支援対策地域協議会)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	児童発達支援事業及び移動支援の充実は評価できると思います。しかしながら、発達障がいの子ども、親たちをフォロー、援助する機関及び人員が少なすぎると感じています。
評価点	1.9 点/5点
III 評価結果(総合評価)	障がい児や医療機器装着児を抱える家族の介護負担の軽減を図り、同年代の子どもたちとの触れ合いのための保育所への受け入れを検討してください。さらに障がいを持った児童・生徒が将来社会参加していくための支援体制の拡充が必要だと考えます。
最終評価点	1.9 点/5点

個別目標	(6)-②ひとり親家庭への支援
I 一次評価	評価・意見(事務局)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	他の個別目標と比較して、「現状維持」の割合が高いことから、何らかの改善を加える必要があると考えます。また、ひとり親家庭は経済的、精神的な負担が多いことから、引き続き窓口での懇切丁寧な対応に努めてください。
評価点	1.7 点/5点
II 二次評価	評価・意見(次世代育成支援対策地域協議会)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	DVの相談や警察通報が増えており、その先に離婚や子どもに対する虐待などがリスクとして想定できます。支援が必要なひとり親家庭に確実に支援が行き届くよう窓口相談などの際には十分な配慮を行ってください。
評価点	2.3 点/5点
III 評価結果(総合評価)	ひとり親家庭への経済的及び精神的支援の充実はもちろんですが、子どもの健全な生活を保障するとともに、子どもの心に与えるストレスを解消するような施策も必要ではないでしょうか。
最終評価点	2.0 点/5点

(様式4)

平成24年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 個別目標の評価結果

個別目標	(6)-③外国人家庭への支援
I 一次評価	評価・意見(事務局)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	外国籍住民は減少傾向にありますが、ボランティアや通訳派遣のニーズは依然として高いようです。今後も子育て中の外国人家庭への支援は継続して実施してください。
評価点	2.7 点 / 5点
II 二次評価	評価・意見(次世代育成支援対策地域協議会)
個別目標・個別事業の結果に対する意見	経済的余裕がない場合、有償の通訳利用ができません。訪問支援についても、所得に応じた通訳派遣への助成について検討してください。
評価点	3.1 点 / 5点
III 評価結果(総合評価)	小学校就学以降は、学校を通じて様々な支援策がありますが、乳幼児を抱えている保護者に対する支援が不足していると思われます。日本語教室や通訳の派遣などコミュニケーションの確保に向けた取り組みが引き続き充実していくことを期待します。
最終評価点	2.9 点 / 5点